

## 財務省担当者による特別授業 「自分と国の将来を考える～まずは、お金から～」

追手門学院大学（大阪府茨木市、学長：川原俊明）は5月16日、経営学部経営学科・水野浩児教授の「税法」の授業において、財務省大臣官房文書課課長補佐・當間和幸氏による特別授業「自分と国の将来を考える～まずはお金から～」を開催します。

今回の特別授業は、未来を担う学生が財政の現状や税の重要性について理解し、自身や国の将来を考えるきっかけとすることを目的としています。

授業の中では、日本が直面している少子高齢化の現状から、今後の社会保障費や公共サービスへの支出などの課題について学びます。また、他国の税負担と社会保障のバランスについて学び、自国の社会保障のあり方について考えます。

財政や税金の現状と将来像の理解を通して、国の将来や自身のキャリアについて考える機会とします。

また、今回の特別授業では「税法」の授業の履修学生以外の一般学生も聴講を可能とし、より多くの学生に自身のキャリア形成の気づきにつながる機会を提供したいと考えています。

### 【ポイント】

- 財務省担当者から、直接、財政の現状と将来について話を聞く貴重な機会。
- 国の将来や自身のキャリアについてより多くの学生に気づきを与える機会を提供。

### 【授業概要】

- 日時 : 5月16日(水) 4限 (15:00~16:30)  
場所 : 追手門学院大学 5号館6階 5606教室  
講師 : 當間和幸氏 財務省 大臣官房文書課 課長補佐  
対象 : 「税法」の履修生と本学の3・4年生 計150人  
内容 : ①少子高齢化のおさらい  
②国の借金の意味を理解しよう  
③平成30年度予算政府案  
④意見交換・質疑応答

この資料の配付先：大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】

追手門学院 広報課 TEL: 072-641-9590 足立・竹内